

12・2 メモ 〈うれしかったこと〉

題名：

初め：20分のタイマーがスタートし、みんなが鉛筆を走らせる音が聞こえてきました。

終わり：名簿順にテストが返され、私は恐る恐る点数をのぞき込みました。

まるで：大好きなジェットコースターに待たないで乗れるときのような嬉しさだった

1段落目：私の嬉しかったこと→漢字50問テストで1発で100点を取ったこと

理由→再テストをしなくていい

100点だと知ったとき、まるで～ような

2段落目：3年生の頃は1発で100点を取っても再テストは受けないといけないからちょっと残念だった

1発で100点を取れなくても再テストで100点を取ったら、再テストはしなくてもいいと思う
け ど、みんなで再テストするときはしないといけないのが残念

でも、連続で100点を取ると、嬉しい気持ちになる

3段落目：お母さん

中学受験で国算理社以外に音楽と体育があった

音楽で、出だしが歌えなかった

もう合格できないと思っていたけど合格できたのが嬉しかった

まちがえてもう1回お願いしますと行ったのが良かったのかもしれないといっていた

4段落目：今回は前の50問テストと範囲がほとんど被っていたから取れたのかもしれないと思った